

第3章 施策の展開方向

(4) 農業生産基盤の整備

【現状】

- ・ 農業用水が安定的に確保された地域が広がりつつありますが、農業用水を河川とため池に依存していることにより、軽度の干ばつ時でも水が不足し営農に支障をきたしています。
- ・ 農業水利施設等の老朽化により機能低下が進み、維持管理に係る労力や経費が増大しています。
- ・ 農家の減少に伴い、農業水利施設等の維持管理費に対する農家の負担が増加し、適切な施設管理が困難になりつつあります。
- ・ ほ場整備後、期間が経っている地域において、排水不良な農地があります。

【課題】

- ・ 農業用水の安定供給のためには、農業水利施設等の整備を進める必要があります。
- ・ 老朽化した農業水利施設等の適期・適切な補修及び更新整備を行う必要があります。
- ・ 農業水利施設等の維持管理に係るトータル経費の低減に向けた取組を進める必要があります。
- ・ 農地の汎用化や区画化など、担い手のニーズに合った基盤を整備する必要があります。

【展開方向】

- ・ 農業用水の安定確保や施設の適切な管理を推進します。
- ・ 県営かんがい排水事業（多久導水路地区、羽佐間水道地区）を推進します。
- ・ 水田の汎用化に必要な暗渠排水の整備を推進します。
- ・ 担い手への農地の集積・集約に必要となる農地整備を推進するとともに、農業水利施設等の管理の効率化に向けた整備を推進します。

【主な具体的取組】

農業用水の安定確保

- ・ 農業水利施設等の補修・更新
- ・ 国営筑後川下流土地改良事業により完成した幹線水路から、各受益農地へ農業用水を送水する末端施設の整備

水田の汎用化の推進

- ・ 園芸作物の作付拡大や生産性向上に向けた暗渠排水の整備推進

農地・農業水利施設の効率化

- ・ 担い手への農地の集積・集約に向けた耕作条件の整備及び農地整備の推進

農村の生活環境基盤の整備

- ・ 多面的機能支払制度を活用した地域ぐるみでの農地や水路、農道等の農業用施設の維持保全活動や、長寿命化に向けた取組に対する支援の実施



農業用水の安定確保(多久揚水機場)